



Fukuya



瑛泉窯築窯60年記念展

西本瑛泉

西本直文

— 縄文の光彩 —

— 彩華『煌』 —

瑛泉窯築窯60年記念展

The 60th Anniversary Exhibition of EISEN-GAMA: NISHIMOTO Eisen & Naofumi



瑛泉窯 築窯60年記念展

西本瑛泉 | 西本直文
— 縄文の光彩 — | — 彩華『煌』 —

The 60th Anniversary Exhibition of EISEN-GAMA: NISHIMOTO Eisen & Naofumi

会 期

2013年●月●日(●)～○月○日(●)

会 場

福屋八丁堀本店7階美術画廊

ごあいさつ

このたび、福屋では開窯60年 西本瑛泉・西本直文父子二人展を開催
させていただく運びとなりました。

瑛泉先生は昭和53年に日展特選を受賞され、日展審査員・日展評議員・
内閣総理大臣賞・平成10年度日本芸術院賞、並びに恩賜賞を受賞され、
日展理事として輝かしい功績を残されています。

直文先生は瑛泉先生の三男に生まれ大阪芸術大学を卒業後、早くから
その才能を発揮されて、精力的に日本各地で個展を開催されています。
平成23年には2度目の日本現代工芸美術展の審査員を歴任され広島を
代表する作家としてのご活躍をされています。

瑛泉先生の「縄文の至宝」、直文先生の数々の賞を受賞されてきた
「十二単衣釉彩」と新シリーズ「銀彩縄文」を含め一堂に展観いたします。
ぜひこの機会にご高覧賜りますようご案内申し上げます。

平成25年11月吉日

福屋 美術部

ご挨拶

この度、築窯60年を顧みてその代表作を並べて回顧すると共に「縄文山河」の自然と融和する心の表現を展示いたします。

日本芸術院賞、恩賜賞の受賞は赫たるものとして、また日展理事、参事、日本現代工芸理事、顧問として最大級の職責を担ってきました。なお、茶陶にも心をいたしてきました。

御支持を頂いた多くの方々に感謝の意をもって展観をさせて頂きたくご案内を申し上げます。

日展参事 西本瑛泉

土の神秘に魅了され、父の背中を追いかけて今も走りつづけています。

この度の父子展は私の夢でもあり、目標であり、覚悟の展覧になります。

歴史の重みを感じ、新しい時代を紡ぎだす一歩になることと確信しております。

独自の技法『十二単衣釉彩』の進化と、父の技法『縄文』を駆使して制作しました『銀彩縄文華』を発表させていただきます。

何卒ご支援とご鞭撻の程をお願い申しあげるとともに、ご高覧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日展会友 西本直文

ELISEN

西本瑛泉



E-01 ひろしま平和希求 救世観音

W:35.0×D:35.0×H:42.0cm



E-02 瀬戸晨映

W:35.0×D:35.0×H:41.0cm



E-03 縄文富士「晨映」

W:39.0×D:39.0×H:36.0cm



E-04 縄文想夢

W:33.5×D:33.5×H:28.0cm



E-5 冠雪富士

W:30.0×D:30.0×H:25.0cm



E-06 曉雲富士

W:19.0×D:19.0×H:28.5cm



E-07 幽玄山容

W:19.5×D:19.5×H:28.0cm



E-08 井戸茶盃

W:14.5×D:14.5×H:8.5cm



E-09 天目富士茶盃

W:12.5×D:12.5×H:8.0cm



E-10 黒織部富士茶盃

W:12.7×D:12.7×H:8.5cm



E-11 赤絵金彩花入
W:12.0×D:12.0×H:23.5cm



E-12 金彩耳付花入
W:11.5×D:11.5×H:22.0cm



E-13 金彩山河譜

W:13.5×D:13.5×H:23.0cm



E-14 山容富士花入
W:10.0×D:10.0×H:19.5cm



E-15 耳付花入
W:12.5×D:11.0×H:19.5cm



E-16 金彩山河
W:10.0×D:10.0×H:18.5cm



E-17 縄文山河飾皿

W:27.0×D:27.0×H:4.5cm

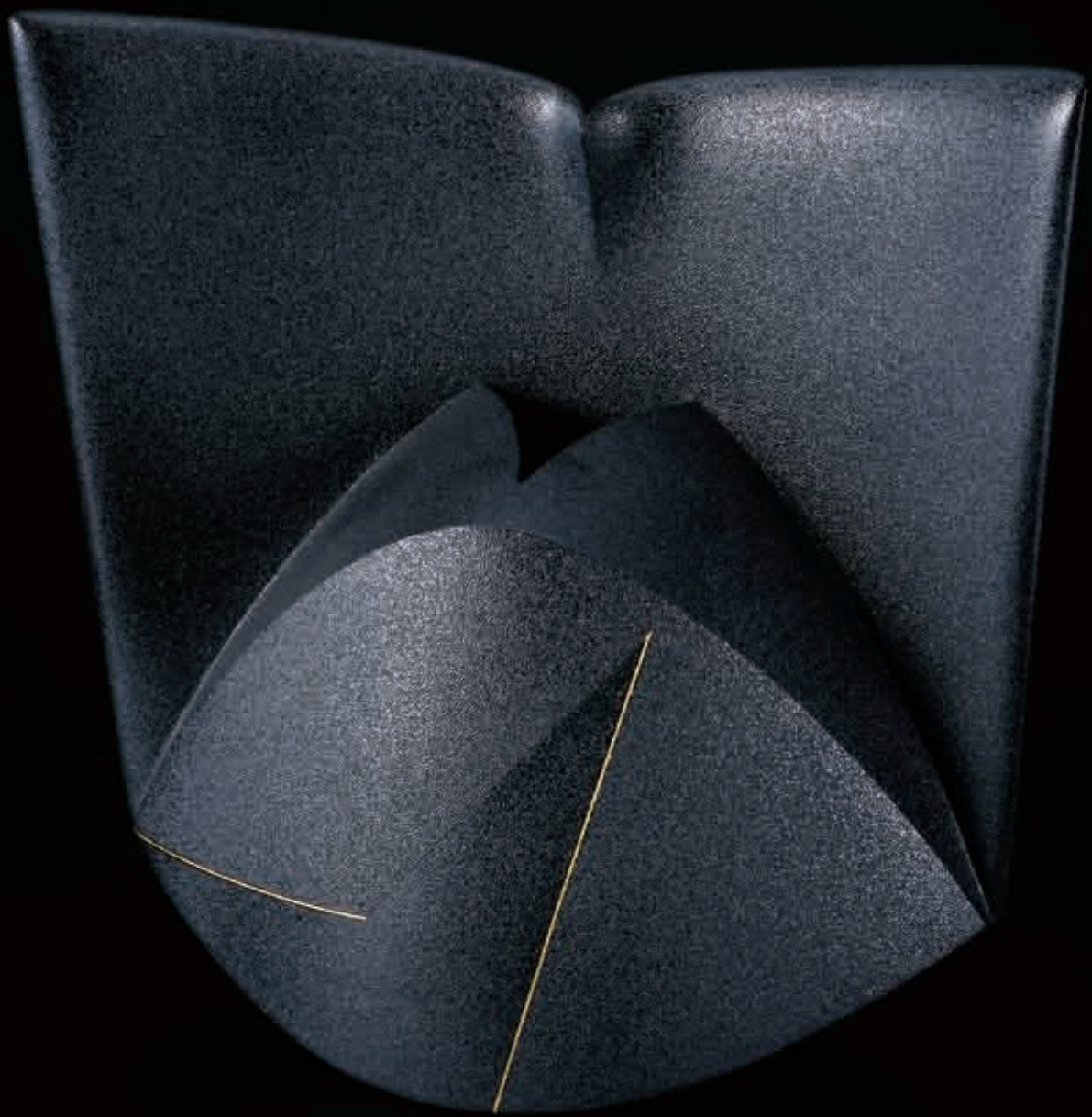
NVA OF UMI

西本直文



N-01 玄生「The Sword」

W:68.0×D:29.0×H:48.0cm



N-02 玄生「The Kabuto」

W:39.0×D:18.0×H:36.5cm



N-03 銀彩縄文華香炉「煌」

W:17.0×D:12.5×H:20.0cm



N-04 銀彩縄文華香炉「煌」

W:16.5×D:16.5×H:12.5cm



N-05 銀彩繩文華陶壺「律」

W:18.5×D:18.5×H:31.5cm



N-06 銀彩縄文華陶瓶「律」

W:14.5×D:14.5×H:25.0cm



N-07 銀彩縄文華陶瓶「律」

W:16.0×D:16.0×H:26.0cm



N-08 銀彩縄文華陶瓶「律」

W:15.2×D:15.2×H:22.5cm



N-09 銀彩華香炉「月の雫」

W:9.7×D:9.7×H:12.5cm

N-10 銀彩華香炉「月の譜」

W:13.4×D:6.8×H:11.0cm

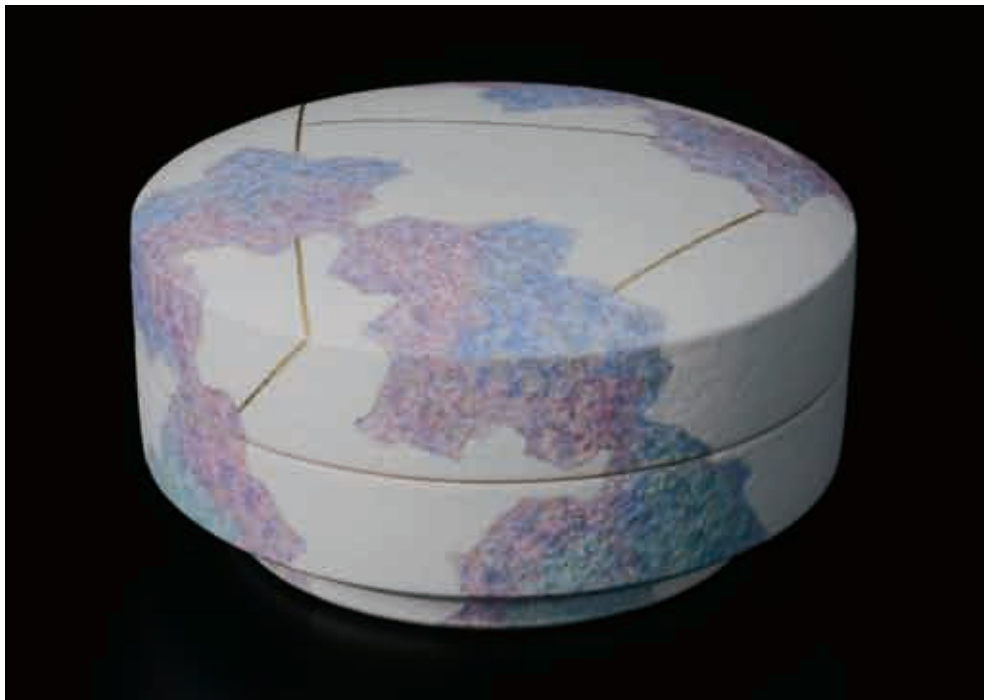
N-11 銀彩華香炉「月の雫」

W:10.0×D:10.0×H:13.0cm



N-12 十二単衣釉彩陶壺「月の光」

W:19.5×D:19.5×H:24.5cm



N-13 十二单衣釉彩陶筥「耀彩雲」

W:22.5×D:22.5×H:12.5cm



N-14 十二单衣釉彩陶筥「回廊」

W:23.5×D:23.5×H:9.0cm



N-15 十二単衣釉彩香炉「巖島彩雲」

W:15.7×D:15.7×H:11.5cm

N-17 十二単衣釉彩香炉「月華」

W:9.7×D:6.5×H:10.8cm



N-19 十二単衣釉彩香炉「月華」

W:9.8×D:7.0×H:11.9cm



N-18 十二単衣釉彩香炉「月の舞」

W:11.8×D:8.8×H:13.2cm



N-16 十二単衣釉彩香炉「月華」

W:9.5×D:6.8×H:11.6cm



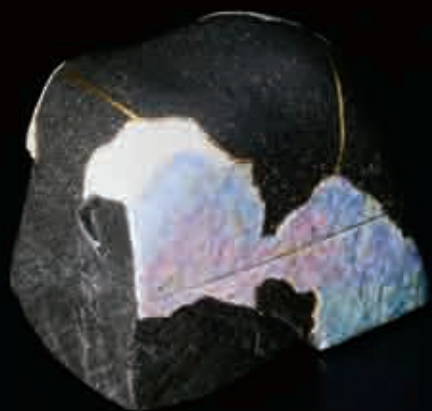
N-20 十二単衣釉彩香炉「月の譜」

W:12.4×D:6.2×H:10.0cm



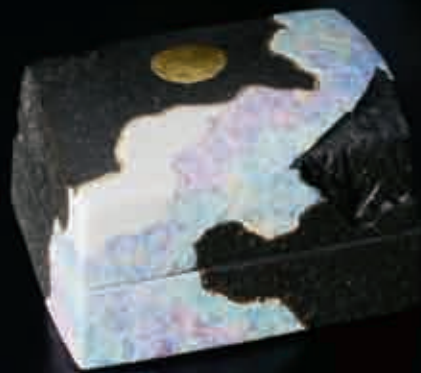
N-22 十二単衣釉彩陶笥「月の華」

W:13.2×D:8.7×H:7.2cm



N-21 十二単衣釉彩陶笥「月の耀」

W:11.0×D:8.8×H:9.0cm



N-23 十二単衣釉彩陶笥「月の華」

W:10.0×D:8.0×H:6.2cm



N-24 十二単衣釉彩陶笥「月の耀」

W:10.8×D:8.4×H:8.5cm

N-25 白釉龍水文陶盃

W:16.7×D:10.2×H:12.3cm



N-26 白釉龍水文陶盃

W:15.8×D:9.4×H:11.8cm



N-27 白釉龍水文陶盃

W:15.0×D:11.2×H:12.8cm



N-28 白釉龍水文盃

W:7.9×D:7.9×H:3.7cm



N-29 白釉龍水文盃

W:6.1×D:6.1×H:5.2cm



N-30 白釉龍水文盃

W:8.1×D:8.1×H:3.7cm



N-31 白釉龍水文菓子鉢

W:28.7×D:28.7×H:4.0cm

N-32 白釉龍水文組皿 (5客)

W:21.0×D:21.0×H:2.8cm



N-33 白釉龍水文茶盃

W:10.8×D:10.8×H:8.3cm

西本瑛泉 陶歴

- | | | | |
|------|---|------|---|
| 1928 | 広島県廿日市市に生まれる | 1999 | 平成10年度恩賜賞・日本芸術院賞《玄窯縄文譜「黎明」》
(日本芸術院買上げ収蔵)
宮中賜茶に招かれる
天皇陛下・皇后陛下よりお言葉を賜わりご会食の榮譽を受く
天皇陛下御在位10年慶祝展覧会特別公開《玄窯縄文譜「黎明」》展示(日本芸術院)
日展理事就任
NHKやきもの探訪『縄文の心を求めて』放映 |
| 1953 | 現住所に芸州焼を創始 8月に初窯を焼成する | 2000 | 紺綬褒章受章
個展『恩賜賞受賞記念展』開催(福屋八丁堀本店) |
| 1960 | 第3回新日展初入選『廃墟に起つ』以後連続 | 2008 | 日展参事となる |
| 1961 | 広島県美展審査委員
広島大学教育学部美術科非常勤講師就任
(1992年3月退任) | 2009 | 「生—歌会始御題によせて—」特別展招聘出品
第39回日展出品作品 ひろしま命の復活再生「平和の祈り」
(伊勢神宮美術館) 展覧後献納
天皇陛下御在位20年記念 日本芸術院所蔵作品展
恩賜賞受賞作品《玄窯縄文譜「黎明」》特別展示
(東京芸術大学美術館) |
| 1962 | 第1回日本現代工芸美術展初入選『樹影』以後連続
現代工芸美術家協会中国会を吉賀大眉と共に創立する | 2012 | 現代工芸美術家協会顧問就任
現代工芸中国会名誉会長就任 |
| 1965 | 第8回日展出品『叢文陶壺』外務省買上げ | | |
| 1976 | 日展会友となる | | |
| 1978 | 第10回日展特選受賞《「玄」縄文想譜》 | | |
| 1979 | 第18回日本現代工芸美術展審査員 以降5回
個展『日展特選受賞記念展』開催(福屋八丁堀本店) | | |
| 1982 | 第14回日展再特選受賞『縄文真如』広島県立美術館収蔵 | | |
| 1983 | 現代工芸美術家協会理事に就任
現代工芸美術家協会中国会会長に就任 | | |
| 1985 | 第17回日展審査員『縄文奏想』広島市へ寄贈収蔵 | | |
| 1986 | 日展会員となる | | |
| 1988 | 第20回日展審査員『縄文蒼生』 | | |
| 1992 | 日展評議員就任
個展『縄文の華』開催(福屋八丁堀本店) | | |
| 1993 | 第32回日本現代工芸美術展『縄文彩器』内閣総理大臣賞
受賞 | | |
| 1998 | 広島文化賞受賞 中国文化賞受賞 | 現在 | 日展参事 現代工芸美術家協会顧問
現代工芸中国会名誉会長 広島日展会会長
広島県工芸作家協会会長 陶芸泉の会主宰 |

西本直文 陶歴

- | | | | |
|------|---|------|---|
| 1965 | 広島市に生まれる | 2005 | 西本瑛泉、西本直文 父子二代作陶展開催
(はつかいち美術ギャラリー) 同 美術ギャラリー11点所蔵 |
| 1983 | 大阪芸術大学 芸術学部 工芸科 陶芸専攻 | 2006 | '09 '12 個展 日本橋三越本店 (東京)
広島県教育奨励賞受賞
第26回田部美術館大賞「茶の湯の造形展」優秀賞受賞
同美術館所蔵 (島根)
第45回日本現代工芸美術展 審査員 (東京都美術館)
紺綬褒章受章 |
| 1988 | 日展 初出品 初入選 以後連続 日展会友 | 2009 | 個展 福屋八丁堀本店 陶 — 『革新』 (広島)
'11 '13 菊池寛実記念 智美術館『菊池ビエンナーレ』
(東京) |
| 1990 | '93 県美展 大賞受賞 童の里工芸館所蔵 (宮崎) | 2011 | 第50回記念日本現代工芸美術展 審査員
(金沢21世紀美術館) |
| 1992 | 第31回日本現代工芸美術展「飛翔」
現代工芸賞受賞 (東京都美術館) | 2013 | 所蔵企画展『現代陶芸 ～表現の在りか～』
(東広島市立美術館)
『十二単衣釉彩陶篋』・瀬戸『風・月・華』・瀬戸『光陰の月』
展示 |
| 1993 | '99 田部美術館大賞『茶の湯の造形展』奨励賞受賞
同美術館所蔵 (島根) | 現在 | 日展会友 現代工芸美術家協会本会員
ひろしまインターネット美術館理事 |
| 1995 | 国際美術大賞展 イタリア・フィレンツェ出品
『十二単衣釉彩器』
フィレンツェ・モンテルポ国際親善賞受賞 | | |
| 2000 | 第39回日本現代工芸美術展『十二単衣釉彩器』
現代工芸本会員賞受賞 (東京都美術館)
フィンランド『茶の湯 — 現代造形展』歴代受賞作品展
(ヘルシンキ市立美術館) | | |
| 2001 | 広島県民文化奨励賞受賞
陶芸財団展『十二単衣釉彩器』審査員賞受賞 (栗田美術館) | | |
| 2002 | 呉市制100周年記念事業「海をみつめて」美術展
瀬戸「月華」招待出品 (呉市立美術館) | | |
| 2003 | ～'13 個展『十二単衣釉彩の世界』開催 (銀座・六本木・
日本橋・横浜・鎌倉・千葉・北海道・石川・富山・福井・
大阪・神戸・岡山・愛媛・高知・鹿児島・沖縄・福山・広島) | | |
| 2004 | 山陽・山陰路の現代陶芸展V出品 (東広島市立美術館)
同美術館所蔵 瀬戸「風・月・華」・瀬戸「光陰の月」 | | |
- | | |
|-----|---|
| 陶工房 | 〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3-4-4
TEL・FAX 082-921-0860
http://www.rakurakuen-gama.jp/
E-mail: n.naofumi@rakurakuen-gama.jp |
|-----|---|

発行
福屋八丁堀本店

制作
アート印刷株式会社

©Eisen Nishimoto, 2013
©Naofumi Nishimoto, 2013